

川崎町

人口	9963	人	高齢化率	27.2	%
協定数	5	8割単価	1		
		通常単価	4		
協定締結面積	781,370	m ²	交付額	7,802,288	円

人口は平成21年10月現在、高齢化率は平成21年3月現在
協定締結面積・交付額は、平成20年度実績を記載

(1)古関集落協定	26
(2)天神集落協定	27
(3)下田集落協定	28
(4)柳生川集落協定	29
(5)簾ノ子沢集落協定	30



○集落連携で地域起こし

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県柴田郡川崎町 古閑集落協定			
協定面積 9.5ha	田 (100%)	畑 (%)	草地 (%)	採草放牧地 (%)
	9.5ha	—	—	—
交付金額 200万円	個人配分			47.6 %
	共同取組活動 (52.4%)			
	①担当者の活動経費			6.0 %
	②農作業受委託推進費, そば祭り開催費等			10.0 %
	②道水路・地区境の草刈り, 耕作放棄地の管理費			16.5 %
	④そば組合運営補助, 高付加型実践農業者への補助			4.0 %
	⑤積立・繰越, 事務費等			15.9 %
協定参加	農業者14人, 生産組織(ソバ組合)1, 非農家6人, 行政区長1人			
8割単価 (必須要件)	耕作放棄地防止の活動		利用権設定や農作業の委託, 農地法面の点検	
	水路, 農道等の管理活動		水路の清掃や草刈り, 農道の簡易補修と草刈り	
	多面的機能を増進する活動		周辺林地の草刈り, 堆きゅう肥の施用等	
通常単価 ※通常単価で交付金が交付されている場合, 右の表に, 取り組んでいる要件が, 記入されています。	(1) 取り組んでいる			2 取り組んでいない
	A要件	○ 生産性・収益向上性		①機械・農作業の共同化
			○	②高付加価値型農業の実践
		○ 担い手育成	○	③地場産農産物の加工・販売
				①新規就農者の確保
			②認定農業者の育成	
			③担い手への農地集積	
	④担い手への農作業の委託			
○ 多面的機能の発揮		①保健林休養を活かした都市住民等との交流		
		②自然生態系の保全に関する学校教育等との連携		
	○	③多面的機能の持続的発揮に向けた非農家他集落等との連携		

2. 特徴的な取組

集落全戸による産地直売所「丸太小屋」を立ち上げ、消費者との交流並びに農地の有効利用を図っている。平成19年度には、農産加工（漬物加工）所を設置し、販売物の販売品に幅を持たせている。また、他集落と連携を図り、「古閑そば祭り」を毎年開催し、地域内の連携強化と蕎麦の地産地消を推進した。



下田協定と共同運営している、農産物直売所



他集落と連携した、そば祭り

3. 取組んだ感想や今後の課題等

古閑集落と連携し、産地直売所・農産加工（漬物加工）、古閑そば祭り、そば作付による生産調整等を行い、集落あげて取り組んできたが、協定者も高齢化してきているため、今後継続して、農業生産活動ができるかが課題である。定年退職者や若年層の取り込みが不可欠である。

【平成21年度までの主な成果】

- 農産加工施設（漬物加工）の設置、加工・販売の開始 H19～
- 下田集落と連携し、「古閑そば祭り」の開催 H17.8～H21.8
- 担い手への農作業の委託 当初345a, 目標490a, H21実績491a

○地域内小学校との連携で、将来の担い手の期待

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県柴田郡川崎町 天神集落協定				
協定面積 19.2ha	田 (100%) 19.2ha	畑 (%) -	草地 (%) -	採草放牧地 (%) -	
交付金額 154万円	個人配分			50.0 %	
	共同取組活動 (50.0%)				
	①担当者の活動経費			7.8 %	
	②体験農園の維持管理費, 農作業共同利用の推進費			3.2 %	
	③水路清掃, 補修改良, 防除機の共同利用等			18.9 %	
④法面点検, 農作業委託推進補助等			11.0 %		
⑤積立・繰越, 事務費, 会議費			9.1 %		
協定参加	農業者28人, 水利組合1, その他(行政区)1				
8割単価 (必須要件)	耕作放棄地防止の活動		利用権設定や農作業の委託, 農地法面の点検		
	水路, 農道等の管理活動		水路の清掃や草刈り, 農道の簡易補修と草刈り		
	多面的機能を増進する活動		周辺林地の草刈り, 堆きゅう肥の施用等		
通常単価 ※通常単価で交付金が交付されている場合, 右の表に, 取り組んでいる要件が, 記入されています。	(1) 取り組んでいる		2 取り組んでいない		
	A要件	○ 生産性・収益向上性	○	①機械・農作業の共同化	
		○ 担い手育成	○	②高付加価値型農業の実践	
		○ 多面的機能の発揮	○	③地場産農産物の加工・販売	
			○	①新規就農者の確保	
			○	②認定農業者の育成	
			○	③担い手への農地集積	
		○	④担い手への農作業の委託		
		○	①保健林休養を活かした都市住民等との交流		
		○	②自然生態系の保全に関する学校教育等との連携		
			③多面的機能の持続的発揮に向けた非農家他集落等との連携		

2. 特徴的な取組

生産性・収益の向上を図るため、農作業機械の共同利用や担い手への農地集積並びに農作業受委託を推進してきた。また、集落内にある小学校と連携を図り、協定内農地において体験農園を実施し、作物のできるまでの学習を行なった。



防除機の共同利用



小学校との体験農園

3. 取組んだ感想や今後の課題等

農作業に触れる機会が少なくなっている小学生を対象に、体験農園を開設し、協定者と一体となって農作業に取り組むことができた。協定者が年々高齢化している中、体験農園に関わった小学生の中から、農業生産活動の継続に関する課題である後継者が現れることを期待したい。

<p>【平成21年度までの主な成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農業機械の共同利用 当初280a, 目標480a, H21実績564a ○担い手への農作業委託 当初190a, 目標450a, H21実績455a ○自然生態系の保全に関する学校教育との連携 <p>地域内川崎町立川内小学校と連携し, 体験農園の実施 H18~</p>

○集落連携で地域起こし

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県柴田郡川崎町 下田集落協定			
協定面積 33.7ha	田 (100%) 33.7ha	畑 (%) -	草地 (%) -	採草放牧地 (%) -
交付金額 269万円	個人配分			50.0 %
	共同取組活動 (50.0%)			
	①担当者の活動経費			5.2 %
	②農作業受委託推進費, そば祭り開催費等			1.9 %
	②道水路・地区境の草刈り, 水路改修費			28.9 %
	④そば組合運営補助, 高付加型実践農業者への補助			1.9 %
	⑤積立・繰越, 事務費等			12.1 %
協定参加	農業者23人, 生産組織(ソバ組合)1, 水利組合1, 非農家4人, その他(行政区長)			
8割単価 (必須要件)	耕作放棄地防止の活動		利用権設定や農作業の委託, 農地法面の点検	
	水路, 農道等の管理活動		水路の清掃や草刈り, 農道の簡易補修と草刈り	
	多面的機能を増進する活動		周辺林地の草刈り, 堆きゅう肥の施用等	
通常単価 ※通常単価で交付金が交付されている場合, 右の表に, 取り組んでいる要件が, 記入されています。	(1) 取り組んでいる		2 取り組んでいない	
	A要件	○ 生産性・収益向上性		①機械・農作業の共同化
			○	②高付加価値型農業の実践
		○ 担い手育成		③地場産農産物の加工・販売
			○	①新規就農者の確保
		○ 多面的機能の発揮		②認定農業者の育成
			○	③担い手への農地集積
○	④担い手への農作業の委託			
		○	①保健林休養を活かした都市住民等との交流	
			②自然生態系の保全に関する学校教育等との連携	
		○	③多面的機能の持続的発揮に向けた非農家他集落等との連携	

2. 特徴的な取組

集落全戸による産地直売所「丸太小屋」を立ち上げ、消費者との交流並びに農地の有効利用を図っている。また、平成19年度には、農産加工（漬物加工）所を設置し、販売物の販売品に幅を持たせている。また、他集落と「古関そば祭り」を毎年開催し、地域内の連携強化と蕎麦の地産地消を推進した。



地場農産物の加工・販売



他集落と連携した、そば祭り

3. 取組んだ感想や今後の課題等

古関集落と連携し、産地直売所・農産加工（漬物加工）、古関そば祭り、そば作付による生産調整等を行い、集落あげて取り組んできたが、協定者も高齢化してきているため、今後継続して、農業生産活動ができるかが課題である。定年退職者や若年層の取り込みが不可欠である。

<p>【平成21年度までの主な成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農産加工施設（漬物加工）の設置、加工・販売の開始 H19～ ○古関集落と連携し、「古関そば祭り」の開催 H17.8～H21.8 ○担い手への農作業の委託 当初700a, 目標1300a, H21実績 1580a

○農作業は担い手へ、地域は共同作業で集落を守る

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県柴田郡川崎町 柳生川集落協定			
協定面積 1 2. 3ha	田 (100%) 12.3ha	畑 (%) -	草地 (%) -	採草放牧地 (%) -
交付金額 100万円	個人配分			50.7 %
	共同取組活動 (49.3%)	①担当者の活動経費		9.0 %
		②共同利用施設、機械整備費等		18.1 %
		③農道水路管理費		9.0 %
		④農地維持管理費		5.0 %
⑤積立・繰越、事務非、会議費		8.2 %		
協定参加	農業者12人			
8割単価 (必須要件)	耕作放棄地防止の活動	利用権設定や農作業委託、農地法面の点検など		
	水路、農道等の管理活動	水路の清掃や草刈り、降雨後の見回り、農道の草刈り等		
	多面的機能を増進する活動	周辺林地の草刈り、堆きゅう肥の施用等		
通常単価 ※通常単価で交付金が交付されている場合、右の表に、取り組んでいる要件が、記入されています。	①取り組んでいる		②取り組んでいない	
	B要件	○ 集落を基礎とした営農組織の育成		
		担い手集積化		

2. 特徴的な取組

認定農業者1名を集落の担い手に位置づけ、老朽化した機械等は更新せず、担い手への作業の受委託や利用権設定を推進してきた。年々増加する野生日本猿の被害に対し、獣害防止策を設置し、農作物被害の防止に努めてきた。



獣害防止電気柵の共同設置状況



担い手による牧草の刈取委託作業



水路・農道の共同草刈作業



獣害防止電気柵設置に関する打合せ

3. 取組んだ感想や今後の課題等

担い手への集積と鳥獣害対策・水路・農道管理等の共同取組活動により、農業生産活動が継続できた。今後の課題としては、現在の担い手が55歳となっていることから、新たな担い手の育成が課題となる。

【平成21年度までの主な成果】

- 担い手への利用集積による体質強化 (当初1.2ha, 目標3.7ha, H21実績5.5ha)
- 鳥獣害防止電気柵の設置 (H19設置 設置延長300m)

○協定地参加者以外の農業生産組織の協力で、大豆の集団転作

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県柴田郡川崎町 簾ノ子沢集落協定				
協定面積 3.4ha	田 (100%) 3.4ha	畑 (%) —	草地 (%) —	採草放牧地 (%) —	
交付金額 58万円	個人配分			47.6 %	
	共同取組活動 (52.3%)	①担当者の活動経費			5.6 %
		②農道水路維持・管理費			27.7 %
		③交付金の積立・繰越			17.3 %
④事務費, 写真代			1.8 %		
協定参加	農業者4人, 生産組織1				
8割単価 (必須要件)	耕作放棄地防止の活動	利用権設定や農作業委託, 農地法面の点検			
	水路, 農道等の管理活動	水路の清掃や草刈り, 降雨後の見回り, 農道の草刈り等			
	多面的機能を増進する活動	周辺林地の草刈り			
通常単価	1 取り組んでいる			② 取り組んでいない	

2. 特徴的な取組

転作作物（大豆）に関しては、作業受委託を協定地参加者以外の農業生産組織と協力して、集団的に転作してきた。農道・水路及び周辺林地の下草刈は、共同で作業を行い、集落の和・つながりを維持する観点から花いっぱい運動等の環境美化運動を実施してきた。



大豆の集団転作状況



防除機の共同利用による病害虫防除



共同作業による農道の維持管



共同作業による周辺林地の下草刈

3. 取組んだ感想や今後の課題等

協定地参加者以外の農業生産組織の協力により、転作作物（大豆）の団地化ができた。共同作業による草刈や環境美化運動により、耕作放棄地をだすことなく、農村景観の保全が図られた。今後は、各協定参加者が、いかに農地を後継者に引き継いでいけるかが、課題である。

【平成21年度までの主な成果】				
○転作作物の団地化計画	当初	0a	目標	250a, H21実績 252a
○防除機の共同利用	当初	0a	目標	50a, H21実績 92a